

# 事業系一般廃棄物の削減等 に関する実績報告及び 計画書の作成の手引き

## 目次

1 はじめに	1
2 多量排出事業所におけるごみ排出量削減取組について	1
3 取り組んでいただく内容について	2
4 事業ごみの削減・再生利用の計画作成と実施手順	3
5 ごみ排出量の把握方法(例)	4
6 実績報告及び計画書の記載例	5
7 本制度の実施に伴う協力について	7

福井市

## はじめに

福井市のごみ(一般廃棄物)の排出量は年間約9万トンとなっています。そのうち事業系ごみ(事業系一般廃棄物)は約3万トンとなっており、事業系ごみの削減・リサイクルの推進を図るため、「福井市事業系一般廃棄物の削減等に関する指導要綱」を策定し、多量排出事業者の方を対象に、ごみの排出量やごみ削減に関する取組などの実績報告及び計画書の作成・提出をお願いしております。

## 多量排出事業所におけるごみ排出量削減取組について

福井市では、「福井市事業系一般廃棄物の削減等に関する指導要綱」に基づき、事業活動により発生した一般廃棄物について、一定量以上排出する事業所を多量排出事業所(※1)として定め、当該事業所の管理者(※2)に対し、以下のことをお願いしています。

- 事業系一般廃棄物管理責任者(以下、「管理責任者」という)の選任
- ごみの処理や削減・資源化に関する実績報告及び計画書(以下、「実績報告及び計画書」という)の作成・提出

### ※1 多量排出事業所

#### 事業系一般廃棄物の年間発生量が 100 トン以上と認められる事業所

- ※ 同一敷地内で事務所、工場等各部署がそれぞれ独立して事業活動を営んでいると認められるものは、別事業所とみなします。
- ※ 同一敷地内又は同一建築物内にある複数の事業所が連帯して一般廃棄物を処理している場合は、これらの複数事業所を同一事業所とみなします。

### ※2 多量排出事業所の管理者

多量排出事業所の所有者、占有者その他の者で当該事業所の管理について権原を有する者

※大型ショッピングセンターやテナントビルなどの同一敷地内に複数の事業所が存在する場合は、当該建築物を管理している代表者となります。

※管理権原を有するものから管理を委託されている者(工場長、店長、所長など)は管理者に該当します。

## 取り組んでいただく内容について

### 管理責任者の選任

事業系一般廃棄物の発生抑制、再使用、再生利用等の推進に関する業務を担当する管理責任者を選任してください。

(ごみの状況把握や管理ができる方を選任してください)

### 管理責任者の担当業務

ア. 事業所から出されるごみの種類、排出量、処理方法等の把握  
イ. ごみの発生抑制、再生利用の方策など、ごみ削減計画の立案  
ウ. 社員、テナント、利用者などへの啓発、教育、指導  
エ. ごみ保管場所の管理  
オ. 福井市を含む関係各機関との連絡・調整

### 実績報告及び計画書の作成・提出

管理責任者と協議し、当該事業所から発生する事業系一般廃棄物の処理及び発生抑制、再使用、再生利用の推進に関する取組等について実施計画等を策定し、それらを「事業系一般廃棄物の削減等に関する実績報告及び計画書(様式第1号)」により、市へ提出してください。

【提出期日】毎年度5月末日 ※新型コロナの影響を考慮してR4年度は7/29まで延長します

【提出先】下記へメール、郵送、直接持参等により提出

福井市役所 市民生活部 環境政策課(別館4階)

(住所) 〒910-8511 福井市大手3丁目10-1

(メール) kansei@city.fukui.lg.jp

(FAX) 0776-20-5754

【提出物】事業系一般廃棄物の削減等に関する実績報告及び計画書(様式第1号)

※ 実績報告及び計画書の書き方はP6、P7を参照してください

### 管理責任者や実績報告及び計画書の内容に変更があるとき

下記の変更がある場合は、「事業系一般廃棄物の削減等に関する実績報告及び計画変更届出書(様式第2号)」により、速やかに市へ提出してください。

1. 多量排出事業所の住所、事業所名、管理者名等及び連絡先
2. 責任者の所属、氏名及び連絡先
3. 本年度処理計画量(実績報告及び計画書に記載のある処理計画量と著しく差異が生じた場合に  
限る)

各様式のデータファイル(Microsoft Excel)は、市環境政策課のホームページからダウンロードするか環境政策課へお問い合わせください。

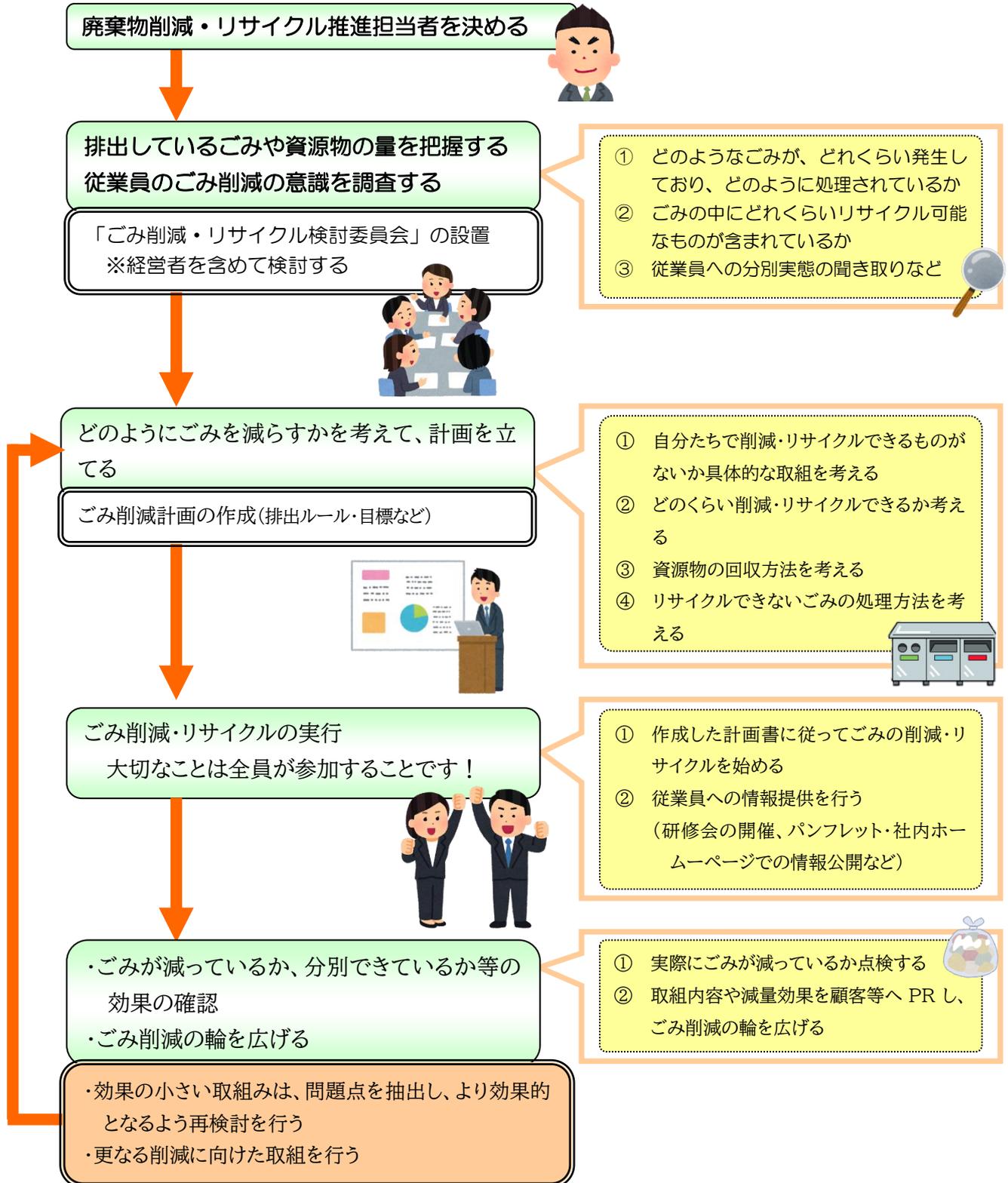
(市ホームページ→「くらし」→「ごみ・環境」→「事業所のごみ」→「事業系一般廃棄物の多量排出事業者の実績報告及び計画書の提出について」)

環境政策課 : (電話) 0776-20-5609 (E-mail) kansei@city.fukui.lg.jp

# 事業ごみの削減・再生利用の計画作成と実施手順

ごみの種類と発生量は、事業内容や規模によって変わってきます。ごみを減らすためには、どのようなごみをどれくらい排出しているかを知ることが大切です。

それぞれの職場の実態にあったごみの削減・リサイクル体制を整備し、この体制を継続することにより、ごみの削減と経費の節減を図りましょう！



## ごみ排出量の把握方法(例)

ごみの排出量の把握には、次の方法があります。

- ① 収集、回収時に業者から伝票を受領している場合は、その量を集計する。
- ② 廃棄物収集運搬業者、資源回収業者に問い合わせる。
- ③ 一定期間貯め置いたものをサンプルとして計量し、その量を基礎に1年間の排出量を推計する。

### ③のごみ推計方法 例

- ・品目毎にごみ袋1袋の平均重量を算出し、一定期間排出個数を調査して排出量を推計する。
- ・コピー用紙などは購入量から推計する。
- ・以下の重量目安を参考に、排出量を推定する。

品目		重量目安
燃やせるごみ		5kg/袋(45リットル)
燃やせないごみ		8kg/袋(45リットル)
生ごみのみ		10kg/袋(45リットル)
プラスチック製容器包装のみ		1kg/袋(45リットル)
ペットボトルのみ		1kg/袋(45リットル)
アルミ缶のみ		2kg/袋(45リットル)
スチール缶のみ		5kg/袋(45リットル)
空きびんのみ		13kg/袋(45リットル)
古紙類	コピー用紙	A4 版コピー用紙 1 箱(500 枚×5 冊)で約 10kg
	新聞	朝刊 1 ヶ月(1 紙)で約 8.5kg
	雑誌	B5 版、約 200 ページの雑誌 4 冊で約 1kg
	ダンボール	A4 版コピー用紙の空箱(500 枚×5)4 箱で約 1kg

燃やせるごみ、燃やせないごみの重量は、ごみの中身や詰め方により大きく変わります。

可能な限り、貴事業所で実際に排出するごみの量を計量し、その数値から推計を行ってください。

事業系一般廃棄物の削減等に関する実績報告及び計画書(令和-年度)

令和-年4月20日

計画書等の記入例①

緑枠の部分をすべて記入してください

事業所の主たる業種を具体的に記入してください。  
(例) 事務所、小売店舗(スーパーなど)、百貨店(デパート)  
病院、ホテル、娯楽施設、銀行、工場、倉庫、複合用途など

産業廃棄物は計上しないでください。

多量排出事業所となる事業所の住所・管理者等・電話番号を記入してください。

事業所住所 福井市〇〇3丁目-1  
事業所名 福井〇〇商事 福井支店  
管理者名 福井 太郎  
電話番号 0776-11-1111

廃棄量・焼却または埋立処理したごみの量  
資源化量:リサイクルとして処理したもの

事業系一般廃棄物の削減等に関する指導要綱に基づき、事業系一般廃棄物の削減等に関する実

業種	事務所	店舗面積	
業務内容	〇〇専門の商社 商品の手配、発送手続、その他事務	1500	m <sup>2</sup>
収容人数	従業員数	60	人
	外来者数	200	人/日
一般廃棄物 管理責任者	所属・役職	総務部、係長	
	氏名	〇〇 〇〇	
	電話番号	0776-11-2222	
	FAX	0776-11-3333	
一般廃棄物の 管理組織	e-mail	fukui@aaa.co.jp	
	廃棄物管理組織	有・無	有・無
一般廃棄物の 管理等	廃棄物分別基準	有・無	有・無
	社内教育	有・無	有・無
産業系 廃棄物に 関するもの を(除く)	廃棄物の計量	有・無	有・無
	処理施設	有・無	有・無
資源ごみの 保管場所	廃棄物の 保管場所	有・無	有・無
	資源ごみの 保管場所	( 8 m <sup>2</sup> ) ※有のとき	( 2 m <sup>2</sup> ) ※有のとき

本計画書等を提出する管理者が管理している店舗面積を記入してください。

貴事業所で選任した一般廃棄物管理責任者を記入してください。

選択項目の部分は、該当するものに○をつけてください。

一般廃棄物の種類 (産業廃棄物は除く)	前年度 排出量 (実績) ※			本年度 排出量 (計画) ※			資源化率 D=C/A
	発生量 A=B+C	廃棄量 B	資源化量 C	発生量 A=B+C	廃棄量 B	資源化量 C	
燃やせるごみ	45.5	45.5	—	40.0	40.0	—	—
燃やさないごみ	12.6	12.6	—	11.0	11.0	—	—
新聞紙	3.0	0.0	3.0	0.0	0.0	3.5	100
ダンボール	5.0	0.0	5.0	0.0	0.0	6.0	100
雑誌	1.0	0.0	1.0	0.0	0.0	1.0	100
OA用紙	2.0	1.0	1.0	0.0	0.0	1.0	100
機密書類	3.0	3.0	0.0	2.5	2.5	0.5	17
シュレッダー	2.0	2.0	0.0	2.0	2.0	0.0	0
その他の紙							
生ごみ							
空き缶類	1.5	0.0	1.5	0.0	0.0	1.5	100
空きびん類	0.4	0.1	0.3	0.0	0.0	0.3	100
ペットボトル	1.0	0.2	0.8	0.2	0.2	0.8	80
木くず							
合計	77.0	64.4	12.6	55.7	14.6	20.8	20.8

食品関連事業所は食品廃棄物(生ごみ)を燃やせるごみと分けて記入してください。

その他、分別している品目があれば記入してください。

廃棄物等の種類別に回収業者(収集運搬業者)を記載してください。廃棄と再資源化の両方している場合は「廃棄業者/再資源化業者」と記入してください。

前年度の実績を踏まえ、今年度の目標排出量(計画)を記入してください。

※小数点第2位を四捨五入すること ※資源物の店頭回収を行う

## 計画書等の記入例②

### ごみの発生抑制・再使用に関する取組(リデュース・リユース)

#### 前年度の取組(実績)

- OA関係の紙類は両面を使用し、各事務所ごとに回収ボックスを設けて回収の徹底を図っている。
- 社内資料や会議資料のペーパーレス化を推進している。

課題や問題点の改善

#### 取組に対する課題、問題点

- ごみの排出量が前年度とほぼ同量発生しており、削減が進んでいない。

課題や問題点の改善

#### 前年度に行った各取組内容の実績を記入してください。

### ごみの再生利用に関する取組(リサイクル)

#### 前年度の取組(実績)

- 新聞、雑誌、段ボールは、各フロアに集積場所を設け、全量を資源化している。
- 自動販売機業者が、飲料容器(びん・缶・ペットボトル等)の回収箱を設置し、回収・リサイクルしている。

課題や問題点の改善

#### 取組に対する課題、問題点

- 燃やせるごみの中に、まだリサイクルできる紙ごみが多く混入している。
- 紙ごみの分別が間違っている場合がある

課題や問題点の改善

#### 前年度に行った各取組内容の課題、問題点を記入してください。

- 燃やせるごみの中に、まだリサイクルできる紙ごみが多く混入している。
- 紙ごみの分別が間違っている場合がある

課題や問題点の改善

#### 今年度の取組(計画)

- ごみ削減・分別のための職場のルールを作る。
- ごみ削減・リサイクル推進のための内部組織を設置する。
- 従業員に対して、朝礼時などにごみの分別を指導する。
- 紙などの購入量や使用量を管理し、従業員にその状況を周知する。

取組に対する課題や問題点を踏まえて、それらを改善する取組や、新たに取組む内容を記入してください。

#### 今年度の取組(計画)

- 新たにOA用紙や機密書類、シュレッダーなどの紙ごみをリサイクル用古紙として分別排出する。
- 分別方法を記載した紙を作成し、全フロアのごみ箱の前に貼る。

### 事業所内における再生品等の利用状況

#### 前年度までの実績

- 再生古紙を使用したトイレトレットペーパーの購入
- 文具・事務用品は、グリーン購入法の適合商品を購入

現在利用している再生品等をすべて記入してください。

#### 今年度計画

- 今年度より購入する社員ユニフォームは、再生PET樹脂使用のものに変更する

今年度新たに利用を開始する内容を記入してください。

### 再生原料を使った商品の製造・販売状況

#### 前年度までの実績

- なし
- 現在再生原料を使用して製造・販売している商品をすべて記入してください。

#### 今年度計画

- 下記グリーン購入法適合商品の取り扱いを開始する
  - ・○○○○○
  - ・○○○○○
  - ・○○○○○
- 今年度新たに製造・販売する商品があれば記入してください。

## 本制度の実施に伴う協力について

本制度の試行に当たり、各事業所の取組状況や、制度自体に対するご意見(改善点、要望、効果等)等に関する調査を行う場合がありますので、ご協力をお願いします。

### 現状確認調査の実施

#### 【現状確認調査の内容】

- 1 削減・資源化が効果的に実践されているか、ご提出いただいた実績報告及び計画書を基に調査を行い、必要な助言等を行います。
- 2 排出方法の確認(収集頻度・処理方法・処理ルート)を、収集運搬許可業者などとの契約書等により確認します。
- 3 一般廃棄物や再生利用の対象になる廃棄物の事務所内の分別状況や保管場所の規模、分別状況など確認を行います。
- 4 廃棄物の発生抑制及び再資源化への推進などの取組状況の確認を行います。

※現状確認調査の際は、管理責任者または担当者の立会いをお願いします

### 本制度に関するご意見

管理責任者または担当者に、本制度に関する改善点、問題点、効果などに関する聞き取りを行います。

福井市 市民生活部 環境事務所 環境政策課  
〒910-8511 福井市大手3丁目10-1  
TEL:0776-20-5609  
FAX:0776-20-5754